

◆24年の『三芳町10大ニュース』

今年もあと僅かになりました。今年1年を振り返り平成24年の「三芳町10大ニュース」を選んでみました。

① **スマートICフル化協議再開**
平成18年から関越自動車道三芳パーキングにETC利用によるスマートICが恒久設置となりました。1日4200台の利用で全国でトップ。しかし、新潟方面のみのハーフ運用のため、地域経済の活性化、観光促進、災害時の緊急物資の搬送等東京方面への利用も含めたフル化への要望の声が多くあります。今年はフル化に向けて協



①スマートICフル化協議再開（6月）

議を再開し、14の行政連絡区でのまちづくり懇話会、地域説明会で意見交換を行いました。今後、進入路の図面や交通量等調査を行い引き続き広く意見を聞いていきたいと思えます。

② **中学生海外派遣マレーシアへ**
3年間中断していた中学生海外派遣を実施しました。アジアの国々との交流を主旨に、本年度はマレーシアに15名の中学生を派遣。ホームステイや文化交流等の体験を通し大きく成長し帰国しました。



②マレーシア中学生海外派遣（7月）

③ **福島県大熊町保健師派遣**

当町は、埼玉県市町村助け合い制度で福島県大熊町とパートナーになっており、保健師を1年間派遣。11月、いわき市の仮設住宅で川越いもの蒸かしいもを「ふるさと祭」で提供。渡辺町長がお礼で来町され、職員対象に復興に向けての思いをご講演いただきました。



③大熊町に保健師派遣 渡辺町長来町（11月）

④ **藤久保小エリア避難所訓練**

倉庫・井戸見学、発電機・投光機使用、非常用トイレ組み立て、AED体験を行いました。また藤久保第3区自主防災会の活動をDVDで紹介。今後、こうした避難訓練や自主防災組織の設立が全町的に広がっていくことを願ってやみません。



④藤久保小学校エリア避難所訓練（10月）

⑤ **公共施設マネジメント・行政評価システム構築ワーキングチーム発足**

経済成長長期に地域配置され老朽化した施設の維持管理費が増大し、公共施設をはじめとする町有財産の維持管理の効率化と資源の有効活用など経営改革が急務になっていきます。また、今までは基



⑤ワーキングチーム発足（6月）

本計画、実施計画、事務事業評価、予算編成等が連携されていませんでした。これらの問題を解決するために、専門委員制度を導入し、公共施設マネジメント、行政評価のワーキングチームを設置し新たなシステムの構築に向け研究を始めた。

⑥ **ご当地グルメコンテスト**

第32回産業界において、商工会青年部主催による三芳の野菜を使った「あなたが創る！あなたが選ぶ！ご当地グルメ」コンテストが行われ、「ほうれん草カレー」がグランプリを獲得しました。また、サツマイモかんたんスイーツコンテストでは、「三芳いもっこ」が得票数1位となりました。



⑥ご当地グルメコンテスト（11月）

建築以来47年の中央公民館が老朽化のため閉館となりました。三芳町の文化、行政の中心的な施設として大きな役割を果たしてきました。3月末には、第18回中央公民館フェスタが、今までの感謝の気持ちを含めて「ありがとう中央公民館」と題して開催されました。来年は、実施設計、着工に入り、給食センターとの併設で平成27年にはオープンする予定です。しばらくお待ち下さい。

⑧ **車人形復活40周年**

昭和47年に50年ぶりに演じられた郷土芸能の「竹間沢車人形」。今年で復活公演から40周年を迎え記念公演が行われました。引き続き三芳町の内外に誇れる伝統芸能として次世代にしっかり伝えてい



⑦中央公民館閉館・高齢大学新年会（1月）



⑧竹間沢車人形復活公演から40周年（12月）

きたいと思えます。

⑨ **初の女子プロゴルファー誕生**

三芳町で初のプロゴルファーが誕生しました。落合めぐみさんです。7月27日に（社）日本女子プロゴルフ協会から認定されました。プロテストに合格されるまで苦勞されたようですが、その苦勞が必ずこれからの試合でいきくとおもいます。みんなで応援したいですね！

⑩ **世界一のいも掘りまつり**

「にほんの里100選」に選ばれた三富新田。美しい景観や美味しい野菜、落ち葉堆肥を使った循環型農業等、三富の魅力をもっと知ってほしいと企画。三富新田の地割りを活かし、440mという世界一長い畝でサツマイモを一斉に掘り



⑨三芳町初の女子ゴルファー誕生（7月）



⑩世界一のいも掘りまつり（10月）

ました。第2回目となる今年、新たにサツマイモかんたんスイーツコンテスト、スタンプリー、地割り見学など新たな企画も加えました。650名を超える方々に参加いただきました。
なお、⑪⑫は次の通りです。
⑪第2次協働まちづくり推進計画策定、
⑫藤久保第1区第2集会所開設、⑬鈴木紀啓氏狭山茶農林水産大臣賞受賞、
⑭地域経済活性化懇談会設置、⑮子育てWEB開設、⑯交通事故防止特別対策実施、⑰町内施設に特定規模電気事業者導入、⑱6次産業支援事業スタート⑲三芳野菜ブランド化推進会議設置、
⑳子ども医療費助成制度窓口支払いなしの対象小・中学生に拡大。※他に住民提案型事業委託制度創設、サツマイモ大学開校、課長マラソン実施等。